

利用・用途・応用分野

関節炎の治療、治療薬

目的・課題

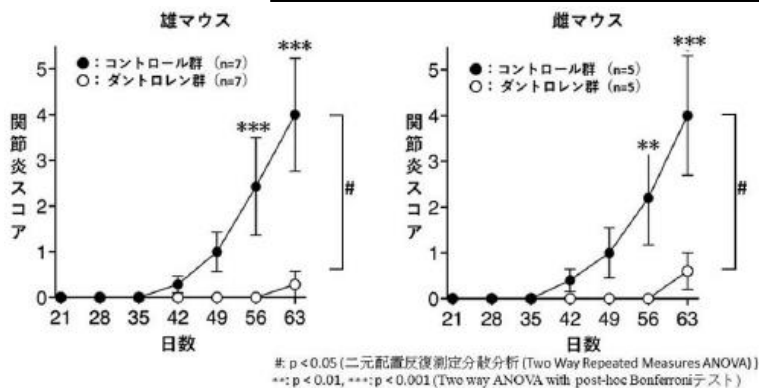
従来の関節炎治療薬では、過度の免疫抑制作用による副作用が問題となっており、免疫抑制作用が少なく、関節炎をはじめとする自己免疫疾患を抑制可能な薬剤が求められている。

自己抗体が産生される自己免疫疾患、特に自己免疫性関節炎を抑制可能な新たな医薬組成物を提供することを課題とする。

解決ポイント

- ◆自己免疫疾患の抑制効果を有する薬剤として、筋弛緩などの作用を有するダントロレンに着目。
- ◆ダントロレンは、意外にも関節リウマチの代表的なモデルマウスであるコラーゲン誘導性関節炎(CIA)で関節炎の抑制効果があることを見出した。
- ◆ダントロレンは、自己抗体の産生抑制効果や、免疫細胞全体に作用する免疫抑制効果ではなく、異常な免疫細胞のみに働く免疫調節効果もあることを見出した。
- ◆ダントロレン又は薬学上許容される塩あるいは水和物を有効成分とし、剤形が注射剤、点滴剤、内服剤、吸引剤、又は坐剤であることを特徴とする自己免疫疾患の抑制用医薬組成物を調製する。

【関節炎モデルマウス(CIAマウス)の四肢関節炎スコアの評価結果】



研究概要・アピールポイント

- ◆本発明の自己抗体が産生される自己免疫疾患の抑制用医薬組成物により対象における自己抗体が産生される自己免疫疾患、特に自己免疫性関節炎を抑制することが可能となる。
- ◆免疫作用への悪影響も少なく、副作用の少ない関節炎治療が期待できる。

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp